

事業間連携砂防等事業（道路保全対策）
旭が丘地区事業間連携砂防等事業
（出雲市多久町）

旭が丘地区 地すべり対策事業平面図

【事業経過】

事業採択年度： 2019 (R1) 年度
 用地着手年度： 2020 (R2) 年度
 工事着手年度： 2020 (R2) 年度
 完了予定年度： 2026 (R8) 年度
 経過年数： 5年

【事業進捗率】

進捗率： 58%
 用地： 33%
 工事： 59%

【事業目的】

対策施設の整備により、人家47戸、市営団地4棟、国道431号（第一次緊急輸送道路）、市道を保全し、住民の安心・安全を確保する

【事業概要】

事業採択年度： 令和元年度
 総事業費： 373,000千円
 B/C： 8.22
 対策工法： 横杭・リング工・グラウトアンカー工・地山補強工

地すべり防止区域 A=12.34ha
 (国土交通省告示第912号平成30年7月11日)

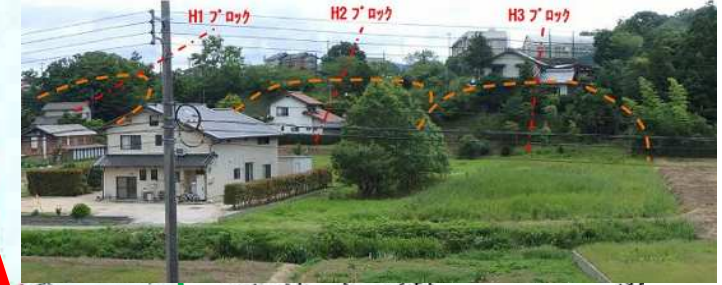
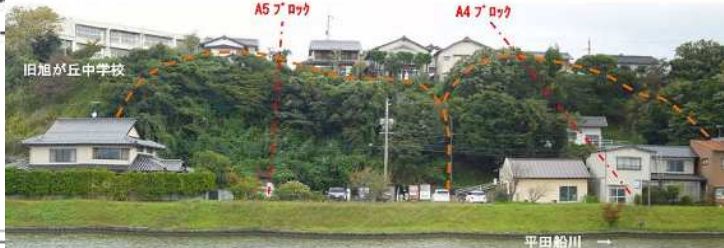


犬走り部
 クラック・段差

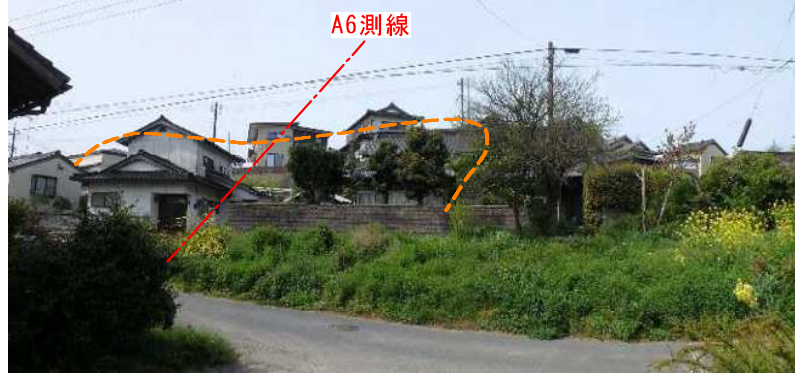
凡例

- 対策済ブロック
- R5対策ブロック
- 未対策ブロック
- 地すべり防止区域
- 被害区域

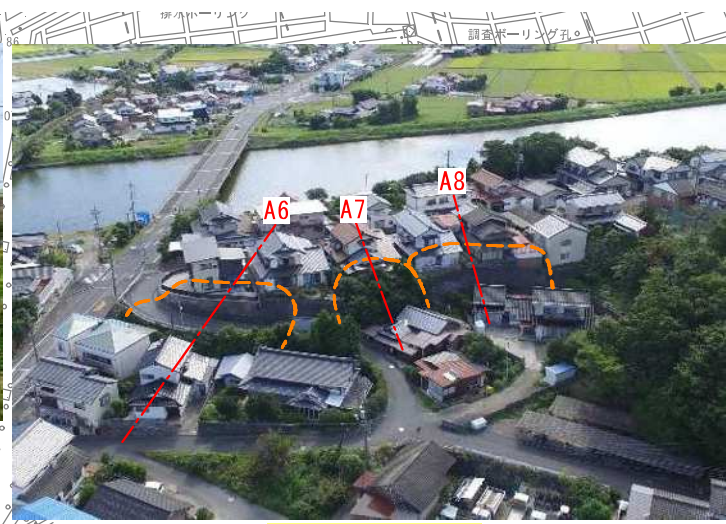
林野庁所管
 多久地区地すべり区域（追加）
 (H14.6.26指定 1.46ha)



林野庁所管 多久地区地すべり区域 平田船川 旭が丘中学校 平田船川 旭が丘地区事業間連携砂防等事業 旭が丘地区地すべり対策事業第一号



Ph-1 A67° ロック全景 東北東向き斜面の住宅地内の地すべりブロックである。



Ph-2 A67° ロック近景



Ph-10 押し出し 3cm程度の張コンの押し出しが見られる。



Ph-11 開口亀裂 押し出しに伴う開口亀裂が見られる。



Ph-14 市道の沈下 沈下に伴う亀裂の発達が見られる。



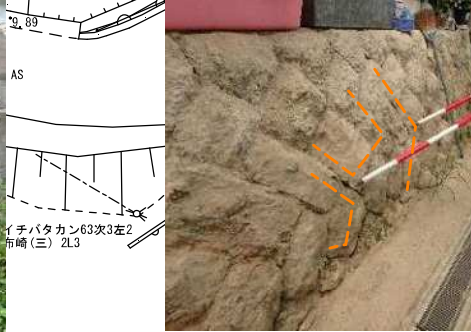
Ph-15 市道の沈下 沈下に伴う亀裂の発達が見られる。



Ph-16 崩壊跡 土塊の押し出しに伴う崩壊跡である。



Ph-17 開口亀裂 市道の沈下に伴う亀裂の開口が見られる。



Ph-21 押し出し 土塊の押し出しに伴い石積の緩みが見られる。



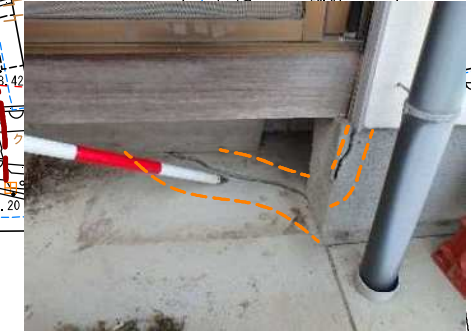
Ph-20 斜面状況 土塊の押し出し兆候のある斜面である。



Ph-22 崩壊跡 市道下方斜面の崩壊跡である。



Ph-5 亀裂 犬走りコンクリートにずれが生じている。



Ph-6 開口亀裂 家屋基礎に発達する開口亀裂である。



Ph-7 亀裂 家屋基礎に発達する亀裂である。

凡 例	
	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差・崩壊
	沈下・亀裂・小段差
	湧水
	写真撮影位置図
	A67° ロック
	A77° ロック
	A87° ロック
	調査事項
	解析測線
	調査ボーリング (パイプ歪計・水位・検層)
	簡易貫入試験

図4.1.2.1 A6ブロック 踏査結果平面図